

田原市ふるさと大使一覧

別紙1

大使の名称	大使の分類	大使の氏名	大使の情報	委嘱回数
渥美半島応援大使	専門的な知識や技能等で田原市を応援する存在の大使	佐藤敏信（さとうとしのぶ）	トヨタ自動車陸上長距離部総監督	5
		山田晃久（やまだあきひさ）	山田再生系サービサー総合事務所代表取締役	4
		笠井寛・喜美子（かさいひろし・きみこ）	寛氏：カサイホールディングス㈱取締役社長（一社）みなと広域地域連繫協議会理事長 喜美子氏：カサイホールディングス㈱監査役	1
渥美半島夢大使	活動分野で活躍することにより、市民に夢を与える存在の大使	太田剣（おおたけん）	ジャズサクソフ奏者	5
		尾川とも子（おがわともこ）	プロクライマー	5
		小川泰弘（おがわやすひろ）	プロ野球選手（東京ヤクルトスワローズ投手）	5
		小笠原崇裕（おがさわらたかひろ）	（財）日本自転車競技連盟マウンテンバイク日本代表監督	1
		都築虹帆（つづきななほ）	プロサーファー	1
渥美半島元気大使	活動分野の特性で市民に元気を与える存在の大使	金田哲（かなださとし）	お笑い芸人（吉本興業） はんにゃ.	5
		光浦靖子（みつうらやすこ）	お笑い芸人（プロダクション人力舎） オアシズ	4
		大久保佳代子（おおくぼかよこ）	お笑い芸人（プロダクション人力舎） オアシズ	4
		鈴木信二（すずきしんじ）	俳優（芸能事務所大判社所属）	1

新任田原市ふるさと大使一覧

別紙 2

	1	2	3	4
写真				
名前	鈴木 信二 (すずき しんじ)	小笠原 崇裕 (おがさわら たかひろ)	都築 虹帆 (つづき ななほ)	笠井 寛・喜美子 (かさい ひろし・きみこ)
生年月日	1981年1月24日 (44歳)	1980年11月22日 (44歳)	2003年5月19日 (22歳)	寛氏：1947年8月23日(78歳) 喜美子氏：1948年10月7日 (78歳)
職業	俳優	(財) 日本自転車競技連盟マウンテンバイク日本代表監督	プロサーファー	寛氏：カサイホールディングス代表取締役 喜美子氏：カサイホールディングス監査役
出身	愛知県田原市	愛知県田原市	愛知県常滑市	笠井 寛(香川県小豆郡土庄町) 笠井 喜美子(愛知県田原市)
紹介文	1981年生まれ。幼少より空手、器械体操を習う。芝居もアクションもできる俳優になるために上京。殺陣、乗馬、弓、槍などを習得。映画のデビューは「ラストサムライ」(2003年)。他に映画では「あずみ」(2003年)、「バベル」(2007年)、「クロースZERO」(2007年)、「ラーメンガール」(2008年)。TVでは「ホーリーランド」(2005年)、「八重の桜」(2013年)、「麒麟がくる」(2019年)、「大富豪同心3」(2022年)。「Official髭男dism」のミュージックビデオ「サブタイトル」(2022年)ではフィギュアスケートに打ち込む娘を男手一つで育てる父親を演じ好評を得た。田原市出身。	1980年生まれ。幼少期にマウンテンバイクを親に買ってもらい、自転車の世界にのめり込む。21歳で日本代表に初選出されアメリカで開催されたマウンテンバイク世界選手権に出場。22歳からプロに転向し同年にはU23クラスの全日本チャンピオンに輝き、日本人として初めてアメリカ籍のプロチームに入団し様々なレースにおいて日本人過去最高位に入る。2006年からXTERRAに参戦を開始し、以後8度の全日本チャンピオンを獲得。また、XTERRAアジアパシフィックツアーでは2年連続でアジアチャンピオンを獲得。近年は指導者として活動。2020年からは発起人として地元、オフロードトライアスロンin田原を開催。自然環境の中で自身と自然とライバルを相手に競うスポーツの楽しさを伝える活動も行っている。2023年スポーツ功労者、文部科学大臣顕彰を受賞。田原市出身。	2003年常滑市生まれ。2017年田原市へ移住(赤羽根中学校卒業)。2017年JPSA日本プロサーフィン連盟プロ合格。2018年JPSAプロツアールキーオブザイヤー(年間ランク2位)獲得。2018年～現在 日本代表強化指定選手及び愛知県強化指定選手。2018年ジュニア日本代表としてI S A世界ジュニアサーフィン選手権大会団体3位。2025年日本代表としてI S A世界サーフィン選手権大会 個人6位。2023年～現在 ワールドサーフリーグQ S (アジア地域予選シリーズ) アジアチャンピオン('22-'23, '24-'25)、同C S (世界各地域予選通過選手によるシリーズ) 世界ツアー3年目を転戦中。	笠井寛氏：1947年生まれ。平成24年に不動産や飲食業等の事業を手掛けるカサイホールディングス㈱を創設。「文化芸術と食をプラットフォームとして、都市と地方を繋ぎ地域社会の繁栄と好循環社会に貢献する。」をミッションに掲げ、「街づくり」と「食・宿」を通じた社会貢献性の高いビジネスを展開している。また、(一社)みなと広域地域連繋協議会理事長として東京都港区と全国の自治体と連携しながら、食をテーマに各地方の多様性の維持や共生を通して地域社会の繁栄と好循環社会の創造に貢献することを目指している。香川県小豆郡土庄町出身。 笠井喜美子氏：1948年生まれ。結婚前まで田原で過ごし、寛氏と結婚後東京で生活を送る。夫の寛氏とともに様々な地域貢献活動を行っている。田原市出身。
選定理由	・俳優としてドラマや映画、舞台などで幅広く活躍しており、有名な作品にも多数出演している。この知名度と発信力を活用し本市の魅力を効果的にPRできる。 ・東日本大震災の復興支援で本市の手筒火花を披露するボランティア活動を行うなど、故郷への強い愛着がある。	・マウンテンバイクの元プロ選手として世界選手権に複数回出場し、日本チャンピオンにも輝くなどの実績を誇り、世界的な経歴は本市の知名度をスポーツという切り口で大きく高めることが期待できる。 ・自転車活用を推進する本市の施策にも合致し、今後の施策立案や次世代アスリート育成、各種イベント参加など様々な活躍が期待できる。	・世界を舞台に活躍する姿は、本市が掲げる「サーフタウン構想」の象徴として若い世代やサーフィンに興味を持つ層に本市を強く印象付けることが期待できる。 ・年齢的にも若い選手なので、これからの活躍に期待ができ、地元アスリートとして市民に夢と希望を与えることができる。	・首都圏で事業を幅広く展開しており、ビジネス界での人脈や発信力を活用し本市の魅力や特産品などを多角的に発信することができる。 ・継続して寄附をいただくなど、地域貢献性が非常に高く本市の発展に寄与している。